

申立ての内容	申立てへの対応
<p>【評価項目】 1 全体評価</p> <p>【原文】 「共同利用等については、KEKBの性能向上に努め、ルミノシティー（粒子同士の衝突頻度）の世界記録を達成し、小林・益川理論の精密な検証を可能にするなど共同利用者の研究に大きく貢献している。<u>また、海外で建設が進められている大型ハドロン衝突型加速器（LHC）のATLAS実験における準備と研究開発で着実な成果を上げるなど、特筆すべき活動を行っている。</u>」</p> <p>【申立内容】 以下のとおり修正願いたい 「共同利用等については、KEKBの性能向上に努め、ルミノシティー（粒子同士の衝突頻度）の世界記録を達成し、小林・益川理論の精密な検証を可能に<u>したと、また、放射光、中性子及びミュオンの各研究施設では年間3,000名前後の利用者にビームを提供し優れた成果を出してきている</u>など共同利用者の研究に大きく貢献している。<u>さらに、海外で建設が進められている大型ハドロン衝突型加速器（LHC）のATLAS実験における準備と研究開発で着実な成果を上げるなど、特筆すべき活動を行っている。</u>」</p> <p>【理由】 物質構造科学研究所における放射光、中性子及びミュオンの各ビームを用いた共同利用実験は、全国の大学等の研究者が年間約3,000名前後が利用する国内最大規模の共同利用実験施設であり、多くの共同利用者の研究に大きく貢献していると考えており、全体評価として記載していただくことを考慮していただきたい。</p>	<p>【対応】 意見を踏まえ、下記のとおり修正する。</p> <p>「共同利用等については、KEKBの性能向上に努め、ルミノシティー（粒子同士の衝突頻度）の世界記録を達成し、小林・益川理論の精密な検証を可能にしたほか、放射光、中性子及びミュオン等の研究施設を年間約3,000名の研究者の共同利用に供しているなど、共同利用者の研究に大きく貢献している。また、海外で建設が進められている大型ハドロン衝突型加速器（LHC）のATLAS実験における準備と研究開発で着実な成果を上げるなど、特筆すべき活動を行っている。」</p> <p>【理由】 共同利用等の状況について、現況分析結果では、利用状況には言及しているが、研究成果にまでは言及していないため。</p>